

## 階層別選択研修（共同）

研修名	中級【法律・経済分野】	受講者の声		
	簿記入門と公会計	簿記を学ぶのは初めてで理解できるか不安でしたが、講義がとても分かりやすく、基礎的な知識を身に付けることができ、簿記の面白さが伝わりました。		
講師	日本ビジネスドック（株） 関口 康尚	期 間	2日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県80人・市町村80人	
ねらい	複式簿記の基礎、財務諸表の見方、決算書を読みこなす能力を実践的に学ぶとともに、行政職員に求められるコスト意識や経営感覚を身に付けます。また、地方公共団体の公会計制度についても学びます。			
対象者	<b>【県】</b> 次のいずれかに該当する職員 ・平成31年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和3年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和4年4月1日現在25歳以上の職員 <b>【市町村】</b> 主任級以下の職員			
実施日	① 8月30日（火）・31日（水）（県40人・市町村40人） ② 12月19日（月）・20日（火）（県40人・市町村40人）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	簿記会計の仕組み	6	25	・簿記システムの理解 ・簿記上の取引の認識 ・取引から仕訳までの流れ ・仕訳から元帳までの流れ ・元帳から決算書までの流れ ・決算書から組織をイメージする
2日 9:00 ～ 16:30	複式簿記を活用する	6	25	・複式簿記と財務的思考力 ・決算書の分析その1 貸借対照表の様式、貸借対照表の分析 ・決算書の分析その2 損益計算書の様式、損益計算書の分析
	複式簿記を公会計に活かす			・公会計の概要を知る ・財務4表の作成 ・財務4表の分析 ・行政経営のイメージ
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.103～104） ・全2回実施 ・研修効果確認レポートがあります。 ・県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。 ・研修で使用しますので、各自電卓をお持ちください。 ※参考：通信教育講座の法律・経済分野に関連する講座があります。			